

平成28年度文部科学省共通政策課題
文化的・学術的資料の保存シンポジウム

主催 一橋大学附属図書館・
社会科学古典資料センター

後援 国立大学図書館協会東京地区協会



2017年2月15日(水)

一橋大学
附属図書館会議室
(時計台棟)

13:00 開会挨拶 **中野聡** 一橋大学副学長

13:15-14:00 **吉川也志保** 一橋大学言語社会研究科特別
研究員

講演「洋書の紙質と本の寿命について」

14:10-15:00 **穴倉佐敏** 女子美術大学特別招聘教授

講演「洋紙の原材料を観察する」

15:00-15:50 **加藤雅人** 東京文化財研究所文化遺産国
際センター国際情報研究室長

講演「『モノ』が持つ情報とその保全
～科学・技術の限界～」

16:00-16:50 全体討論、質疑応答

コーディネーター **江夏由樹** 帝京大学教授・一橋大学名誉
教授

17:00 閉会



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

シンポジウム
ホームページ

<http://chssl.lib.hit-u.ac.jp>

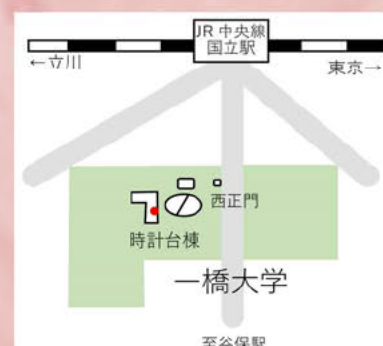
■無料 ■先着50名 HPから事前申込

問合先
〒186-8602

一橋大学社会科学古典資料センター
東京都国立市中2-1 (JR中央線・国立駅南口より徒歩10分)

E-Mail:

koten@lib.hit-u.ac.jp TEL: 042-580-8248



本の分析学

書物の構成要素としての紙について